

総合科学技術会議
基本政策推進専門調査会
フロンティアPT会合(第10回)
平成22年3月31日(水)14:00-16:00
合同庁舎4号館4階 共用第2特別会議室

話題提供

宇宙分野と海洋分野の連携 —持続可能な社会の形成に向けて—

山形 俊男

東京大学 大学院理学系研究科

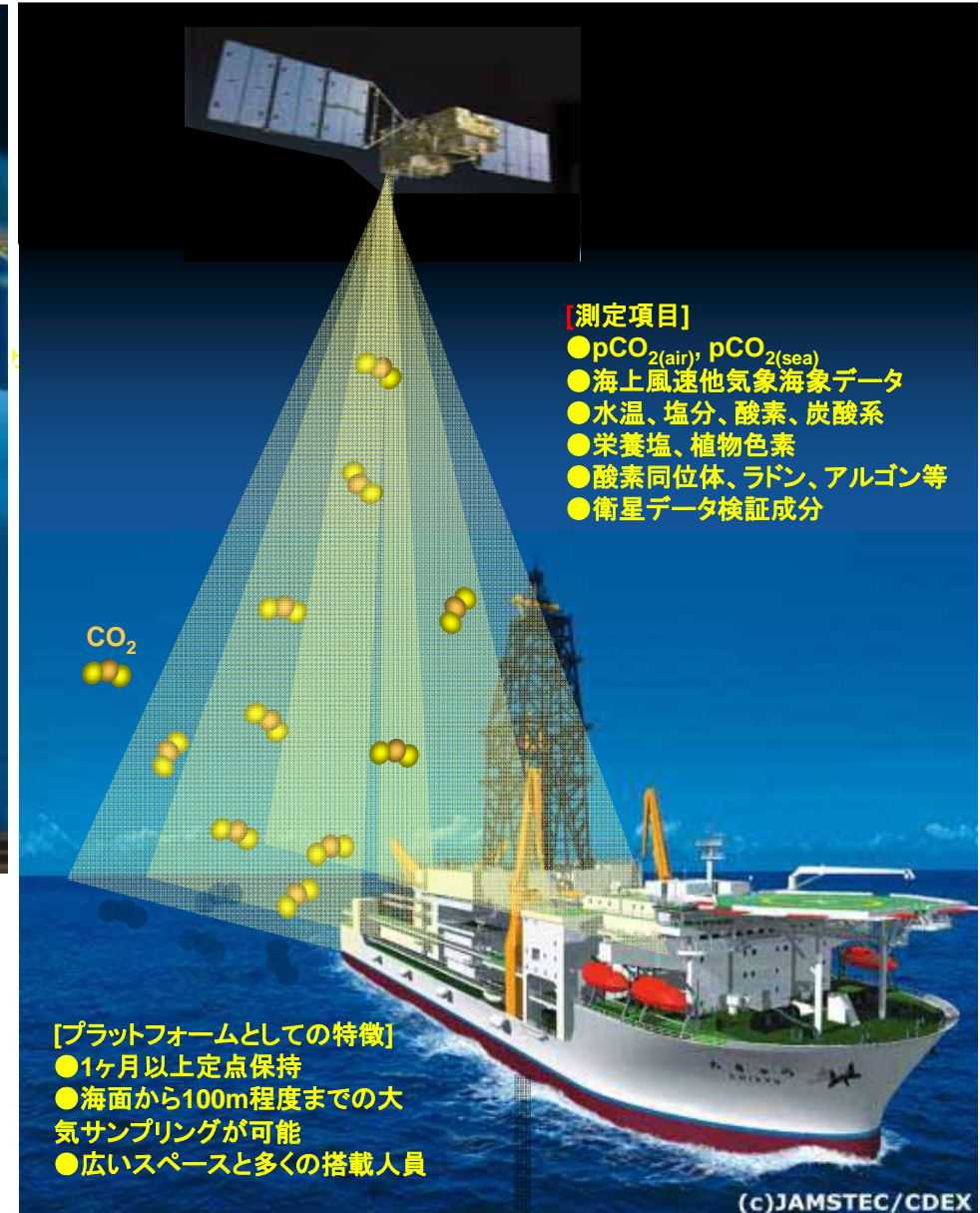
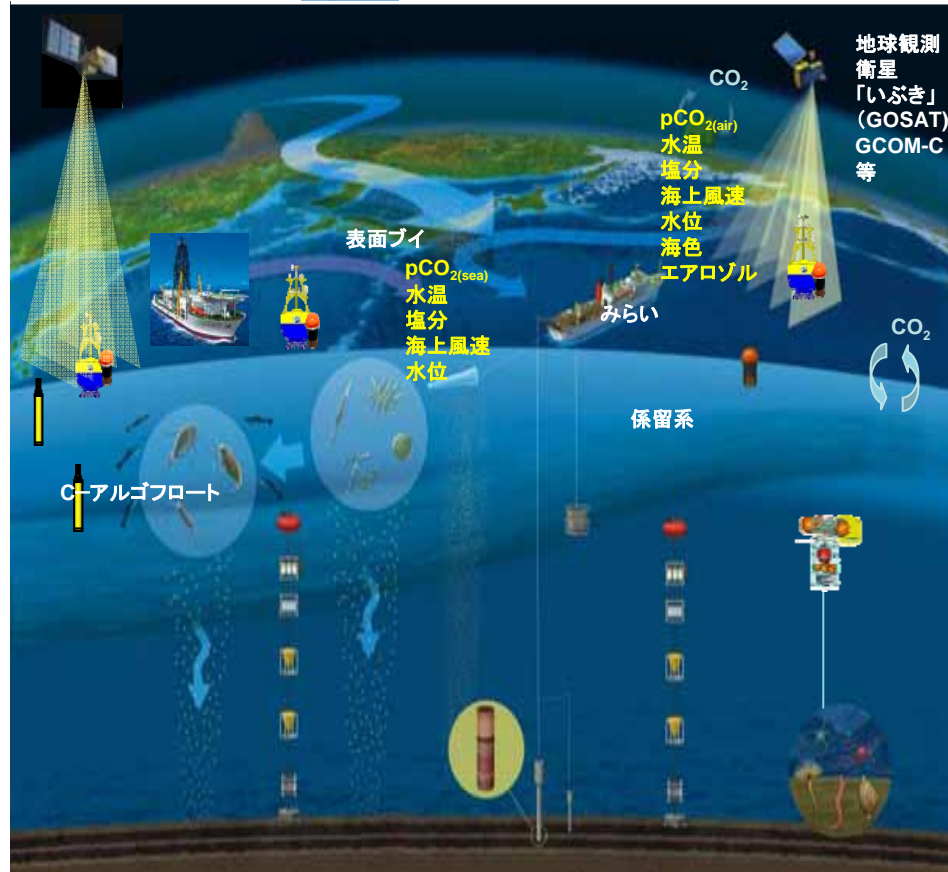
(ご協力いただいた専門家の方々 敬称略)

植松光夫、小田巻実、蒲地政文、木下 健、齊藤誠一、佐藤 徹、
棚橋 学、寺島紘士、古庄幸一、細田昌広、水野恵介、和田時夫

Climate research and its application to human security for sustainable well-being

精度の高い気候変化・変動予測のための海洋の長期時系列観測と衛星観測の連携

掘削中の地球深部探査船「ちきゅう」を洋上炭酸ガス測定プラットフォームとして利用



例) 全球的に高精度なCO₂観測を実施するためには海洋上のデータの把握が必要

「GOSAT」と海洋上の実観測におけるデータの比較検証

船舶、ブイ、地球観測衛星の効率の良い観測システムの構築

深海～陸上までのシームレスなリアルタイム通信



ガバナンス概念をEEZに拡張する必要性

海に拡大した国土の管理

⇒ 海洋基本情報を統合的に管理する
“海洋台帳”の整備が必要

海洋台帳
Marine
Cadastre



	従来	拡張後
範囲	領土	領土＋海域(排他的経済水域等)
管理属性	台帳/地理空間情報	海洋台帳
位置	地番(土地登記)/基盤地図情報	緯度経度/海岸線
権利関係	所有権(所有者等)	利用権(漁業権等)、保護区等
物的状況	地目(用途・種類等)	海底地形/海流等